

2013

10・28

毎週月曜
第5週除く

835号

週刊ビル経営

イソーロ総合研究所



エンジニアリング部 セミナーマネージャー

建築費が高騰し予算に納まらないとお困りの建築主に、品質を保ちながらコストダウンを実現するサービスがあります。C.M.(コンストラクションマネジメント)という仕組みで、実績値としてこれ

的な調達にあります。ゼネコンは、多くの専門工事会社を使つて新築工事を請け負いますが、業者は協力会社に限定されるため、

ゼネコン見積よりおよそ2割コストダウン

までゼネコンの見積から2割前後コストダウンしてきました。コストダウンのポイントは、工事の競争力の調達にあります。ゼネコンは、多くの専門工事会社を使つて新築工事を請け負いますが、業者は協力会社に限定されるため、

請の専門工事会社やメー

トナーからも広く見積を徴収し、各工種毎に競争力のある専門工事会社を採用することで、建築費を安くします。また、設計図をコスト的な視点で見直すことで、さらなるコストダウンを図ることもできます。事業用の建物の場合、建築費は賃料設定に直結しますから、コストダウンによって物件の競争力が高まるることはもちろん、「概算参考見積」のサービス

削減できた費用をデザイン的な建物のバリューアップにまわすことでも魅了的な物件として差別化することもできます。オーナー様の選択肢が大きく広がるとともに、テナント誘致を有利に進めることができます。本当に金額が下がるのか不安な方には、これまでのC.M.方式では、元請のゼネコンだけでなく、下

(有料)もあります。ぜひご検討ください。